

高血圧治療薬*を使用する 女性の患者さまへ

妊婦又は妊娠している可能性のある女性は、
医師にご相談ください。

- 妊娠中に使用した場合、胎児・新生児に影響を及ぼす可能性があります。
- 妊娠が判明した場合又は疑われる場合（月経遅延、つわり症状、基礎体温を測定している場合は高温期の持続など）は、医師にご相談ください。
- 妊娠を計画する場合は、医師にご相談ください。

医師は、このお薬を患者さまに必要と判断して処方しています。医師にご相談なくお薬の使用を中止することのないようにお願いします。

妊娠中や妊娠希望の方のお薬に関する相談窓口として
「妊娠と薬情報センター」があります。

妊娠と薬情報センター
はこちら



*該当するレニン-アンジオテンシン系阻害作用を有する高血圧治療薬

- | | | |
|-------------|----------------|----------------|
| ○アジルサルタン錠 | ○エナラプリルマレイン酸塩錠 | ○テラムロ配合錠 |
| ○アムパロ配合錠 | ○オルメサルタン錠 | ○テルミサルタン錠 |
| ○アラセプリル錠 | ○オルメサルタンOD錠 | ○バルサルタン錠 |
| ○イミダプリル塩酸塩錠 | ○カプトプリル錠 | ○バルヒディオ配合錠 |
| ○イルアミクス配合錠 | ○カムシア配合錠 | ○ペリンドプリルエルブミン錠 |
| ○イルベサルタン錠 | ○カンデサルタン錠 | ○ロサルタンカリウム錠 |
| ○イルベサルタンOD錠 | ○ジルムロ配合錠 | ○ロサルヒド配合錠 |